

会議記録

会議名称	第1回 杉並区松ノ木運動場外5施設指定管理者候補者選定委員会
日時	令和8年1月15日(木) 午前10時00分～午後0時00分
場所	小川ビル4階会議室
出席者	<p>委員名</p> <p>国士舘大学大学院 特任教授：菊 幸一 東京都立大学都市環境学部 教授：奥 真美 杉並区スポーツ・レクリエーション協会 会長：野田 信雄 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区区民生活部文化・スポーツ担当部長：阿出川 潔 杉並区都市整備部土木担当部長：三浦 純悦</p>
	<p>事務局職員</p> <p>区民生活部スポーツ振興課長：田森 亮 都市整備部みどり公園課長：大場 将国 区民生活部スポーツ振興課計画推進担当係長：元島 貴裕 区民生活部スポーツ振興課施設管理係長：今村 裕二 区民生活部スポーツ振興課事業係長：齋藤 尚美 区民生活部スポーツ振興課施設管理係主査：鈴木 勝広 区民生活部地域課地域施設係長：佐藤 威 都市整備部みどり公園課みどり公園担当係長：澤口 正人</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 選定委員会委員名簿 資料2 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料3 指定管理区域図 資料4 選定委員会の運営方針(案) 資料5 選定スケジュール(案) 資料6 指定管理者募集要項(案) 資料7 審査基準(案) 資料8 審査表(案)</p>
会議次第	<p>1 挨拶 2 委員紹介・委員委嘱 3 会長選任及び職務代理者の指名 4 議題 (1) 選定委員会の運営等について (2) 募集要項について (3) 審査基準及び審査表について 5 事務連絡</p>
会議の結果及	<p>各委員へ委嘱状を伝達した後、委員互選により、菊委員が会長に選任された。また、会長に事故があった場合の職務代理者として、会長により奥委員が指名された。</p> <p>その後、会長による議事進行のもと、事務局から、指定管理区域図、選定委員会の運営方針(案)、選定スケジュール(案)、指定管理者募集要項(案)、審査基準(案)、審査表(案)について説明した上で、各委員からの意見を聴取した(欠席である久間 亜紀委員から事前に聴取した意見は、事務局から紹介)。</p>

び
主
要
な
発
言

【主な意見及び質疑】

- ・選定委員会の運営方針について、指定管理者候補者選定後の記載はあるが、選定方法の規定がないため、追記すべきと意見があり、修正することとした。
- ・募集要項について、令和8年10月からの6か月間は、下高井戸おおぞら公園等とそれ以外の施設で異なる指定管理者が運営することになる場合があるため、両指定管理者の連携について追記すべきと意見があり、修正することとした。
- ・審査表について、一次審査の「基本方針」の係数を3から2に変更すべきと意見があり、修正することとした。
- ・審査表について、一次審査の「グループ化による効果的・効率的な管理運営」の係数を1から2に変更すべきと意見があり、修正することとした。
- ・審査表について、一次審査及び二次審査の「公園を含めた施設の一体活用」の係数をそれぞれ2から3に変更すべきと意見があり、修正することとした。
- ・審査基準について、応募事業者へのヒアリングは、全ての項目を事務局で行うのではなく、委員で分担するべきと意見があり、修正することとした。

本日の議論を踏まえ、修正した募集要項等を委員に送付し、期日までに確認いただきたいことを説明し、委員の了承を得た。

その後、募集要項は会長の最終確認によって確定とし、1月26日（月）から区ホームページで募集要項の公開を開始したいことを説明し、委員の了承を得た。

次回（第2回選定委員会）の開催について

令和8年4月14日（火）午後1時30分から 区役所中棟4階第2委員会室

会議記録

会議名称	第2回 杉並区松ノ木運動場外5施設指定管理者候補者選定委員会
日時	令和8年4月14日(火) 午後1時30分～午後4時00分
場所	杉並区役所中棟4階第2委員会室
出席者	<p>委員名</p> <p>国士舘大学大学院 特任教授：菊 幸一 東京都立大学都市環境学部 教授：奥 真美 杉並区スポーツ・レクリエーション協会 会長：野田 信雄 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区区民生活部文化・スポーツ担当部長：阿出川 潔 杉並区都市整備部土木担当部長：三浦 純悦</p>
	<p>事務局職員</p> <p>区民生活部スポーツ振興課長：金澤 潤一 区民生活部地域施設担当課長：近藤 伸吾 都市整備部みどり公園課長：大場 将国 区民生活部スポーツ振興課計画推進担当係長：元島 貴裕 区民生活部スポーツ振興課施設管理係長：砂岡 敦 区民生活部スポーツ振興課事業係長：齋藤 尚美 区民生活部スポーツ振興課施設管理係主査：小笠 公嗣 区民生活部地域課地域施設係長：佐藤 威 都市整備部みどり公園課みどり公園担当係長：澤口 正人</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 選定委員会委員名簿 資料2 一次審査表 資料3 財務状況分析結果報告書 資料4 労務管理状況まとめ資料 資料5 二次審査表 資料6 第二次審査の進め方・質問について(案) 資料7 第二次審査タイムスケジュール(案)</p>
会議次第	<p>1 委員の交代について</p> <p>2 応募状況及び第一次審査の進め方について</p> <p>3 第一次審査 (1) 事務局説明 (2) 提案についての意見交換及び質疑 (3) 審査(採点)</p> <p>4 第二次審査の進め方について</p> <p>5 第一次審査結果について (1) 集計結果 (2) 第一次審査通過団体の決定</p> <p>6 その他</p>
会議の結果	<p>事務局から、久間 亜紀委員が所属団体(公益財団法人東京都公園協会)における人事異動に伴って3月31日付で退任となり、所属団体の後任である根来千秋委員が4月1日から就任したことを報告した。</p>

及び
主要な
発言

事務局から、応募団体が1者（1共同事業体）であったことを報告した上で、第一次審査の進め方について説明した。

○第一次審査（書類審査）

事務局から、公認会計士による財務状況分析結果を説明したほか、労務管理状況を応募書類の就業規則等により確認した結果を報告した。続けて、各委員により、提案内容等に関する意見交換及び質疑を行った。なお、欠席である根来委員については、事前に採点した一次審査表の提出を受けたほか、聴取した意見を事務局から紹介した。

【主な意見及び質疑】

- ・代表団体が区内で長年、店舗（スポーツジム）を営業しているため、区内事業者として加点しても良いのではないか。
→各委員による議論の結果、地域に貢献しているとの理由から、加点対象としても良いと整理した。
- ・神田川沿いの高木の管理は、指定管理者の業務に含まれるのか。
→（事務局回答）川沿いの樹木すべてではないが、公園等施設の敷地内の高木については、指定管理業務の対象として明記している。
- ・公園の管理を担うため、自然環境の保全や生物多様性の視点があると良い。今回の審査において、どこまで求めるべきか難しい面もあるが、樹木の管理が業務に含まれるのであれば、やはり生物多様性について考えることが望ましい。
- ・「地域と共に公園を育む」などの記載について、具体的な提案が乏しいと感じる。パークステーションの利活用には期待したい。
- ・公園の運動目的での利用や自主事業の提案は評価できるが、公園と一体の運動施設であるからこそ行える取組があると更に良かった。

意見交換及び質疑後、各委員により採点を行った。集計の結果、第一次審査の評価点数が配点数の6割以上であったため、応募団体を第一次審査通過団体として決定した。

※第一次審査結果は、別紙のとおり。

○第二次審査の進め方について

事務局から質問の分担やタイムスケジュール等の案を説明し、それに対する意見交換及び質疑を行った。

【主な意見及び質疑】

- ・施設全体の管理運営と公園の管理の項目が分かれているが、公園を含めた一体性が重要ではないのか。
→（事務局回答）施設全体の視点に加え、新たに指定管理に加わる公園に特化して評価する項目を設定しており、企画提案書の項目と対応する。第二次審

査当日に使用する審査表には、企画提案書の該当項目が明確になるよう記載する。

- ・ユニバーサルタイムについては、現在、区が主体で実施している事業で、次期から指定管理者に委ねる予定であるため、事業の質を確保する観点から、事務局から質問した方が良いのではないか。

→委員及び事務局による議論の結果、事務局から質問することとした。

次回（第3回選定委員会）の開催について

令和8年4月27日（月）午後1時30分から 区役所西棟6階第5会議室

会議記録

会議名称	第3回 杉並区松ノ木運動場外5施設指定管理者候補者選定委員会
日時	令和8年4月27日(月)午後1時30分～午後3時20分
場所	杉並区役所西棟6階第5会議室
出席者	<p>委員名</p> <p>国士舘大学大学院 特任教授：菊 幸一 東京都立大学都市環境学部 教授：奥 真美 公益財団法人東京都公園協会 公園事業部長：根来 千秋 杉並区スポーツ・レクリエーション協会 会長：野田 信雄 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区区民生活部文化・スポーツ担当部長：阿出川 潔 杉並区都市整備部土木担当部長：三浦 純悦</p>
	<p>事務局職員</p> <p>区民生活部スポーツ振興課長：金澤 潤一 区民生活部地域施設担当課長：近藤 伸吾 都市整備部みどり公園課長：大場 将国 区民生活部スポーツ振興課計画推進担当係長：元島 貴裕 区民生活部スポーツ振興課事業係長：齋藤 尚美 区民生活部スポーツ振興課施設管理係主査：小笠 公嗣 区民生活部地域課地域施設係長：佐藤 威 都市整備部みどり公園課みどり公園担当係長：澤口 正人</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 第二次審査タイムスケジュール 資料2 第二次審査の進め方・質問について 資料3 第一次審査集計結果 資料4 二次審査表</p>
会議次第	<p>1 第二次審査タイムスケジュール等について 2 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング) 3 第二次審査結果の確認及び指定管理者候補者の決定 4 その他</p>
会議の結果及び主要な発言	<p>事務局から、前回の第2回選定委員会で決定した第一次審査の結果を踏まえて、第二次審査の進め方について説明を行った。</p> <p>○第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング) 応募団体(1者)がプレゼンテーションを行い、その後、ヒアリングを行った。</p> <p>【ヒアリングの主な質疑】 (「・」は委員及び事務局の発言、「→」は事業者の回答を示す)</p> <p>・これまで運営を担う中で、特定の世代の集客など、地域特性を踏まえた課題に対し、具体的なアプローチの工夫やこれまでの実績はあるか。</p>

→地域コーディネーターを中心に、アウトリーチ活動として教室の体験会を行い、参加者にヒアリングするなどの取組をしていきたいと考えている。実績としては、地域の保育園でのアウトリーチ活動時、サッカーの大会を行いたいとの声を聴いて、施設で企画したことがあった。

・安心・安全な施設運営のため、特に屋外施設利用時の熱中症対策が重要だが、熱中症計の設置等の提案に加え、例えば、熱中症警戒アラート等の情報により、区と協議の上で施設の利用を中止するなど、経験を踏まえてもう少し踏み込んだ対応は考えられないか。

→永福体育館のビーチコートにおいて、冷たい水に浸かることができる設備を導入したほか、ミストファンの設置などで対応している。今後は、掲示物での周知に加え、下高井戸おおぞら公園管理棟を涼みの場として活用していきたい。

・施設全体の適正な維持管理について、企画提案書に記載の「地元業者の活用」の具体的な内容を教えてほしい。

→施設職員で対応できない修繕や、清掃業務で区内業者を活用する。修繕については、設備の種類・状況によって対応できない場合もあるが、可能な限り区内業者を活用していきたい。

・公園の管理について、企画提案書に「地域との連携を通じた施設運営と地域活性化」の記載があるが、具体的な課題や取組はあるか。

→具体的な課題は調査できていないが、住宅地にある公園のため、地域住民が集まるきっかけづくりが重要と考えている。地域の雇用も含めて活性化を図り、地域住民及び利用者の満足度を高めていきたい。

・SNSの活用の提案について、公園の資源など発信する内容は考えているか。

→公園のイベント、防災訓練等の情報に加え、地域のボランティアとともに取り組む花壇について、季節に合った花を植えて発信することも行いたい。

・防災訓練に関して、地域住民等の避難に加え、スポーツ施設利用者が一時的に留まる場合の対応など、今後の取組で考えていることはあるか。

→他自治体における実績として、広域避難場所になっている施設について、近隣の保育園等に声をかけ、連携して避難訓練を実施しており、下高井戸おおぞら公園においても同様の取組が実施可能と考えている。

・これまでの運営実績の中で、ヒヤリハット事例はあるか。

→永福体育館のビーチコート内に、先の尖った物が落ちていたことがあり、利用者に注意喚起した。また、松ノ木運動場や下高井戸運動場では、野球の打球が場外に飛び出す可能性があるため、バットの使用に関する注意事項の周知をしている。

・一般使用において、種目によって集客が課題になるが、利用者を増やす方策は考えているか。

→現在、永福体育館のビーチサッカーの利用者が少ないため、サッカー教室開催時などに、一般使用の周知をしている。

・区民集会所で具体的に計画しているプログラムについて教えてほしい。

→文化系の教室、書道や水彩画のイベントを考えている。さらに、知育のワークショップを区民集会所以外の施設でも開催し、各施設の集客や活性化につなげたい。

・地域に根差した取組について、次期指定管理期間で新たに考えていることがあれば教えてほしい。

→障害者向けの出張事業について、特別支援学級で計画的に開催するなど、回数を増やしていきたい。

・児童館等のアウトリーチ活動は、令和6年度の実績が企画提案書に載っているが、今後も同程度の規模で行うことが可能か。

→可能と考えている。小学校については済美教育センターと連携しながら取り組みたい。

・松ノ木、永福、下高井戸の地域を面で捉えて取り組むことがあるか。施設間の連携はどうか。

→アウトリーチ活動について、現在の取組を踏まえて実績がない地域にも広げ、一体的に行っていききたい。施設間連携については、各施設の教室において、他施設の教室について周知し、相互利用を促進したい。

・地域コーディネーターについて、具体的な役割や成功事例、ローテーション表の中で誰が担うのか、教えてほしい。

→地域関係団体や学校などと、アウトリーチ事業の調整役を担う。スポーツ・運動を行っていない方々に対し、継続的に運動するきっかけづくりを行ってきた。構成団体において、地域連携の強みを生かし、1名がコーディネーターを担う。

・人材育成、研修についてはどのように取り組むか。

→共同事業体全体としては、個人情報保護研修や防災訓練等の危機管理に関する内容を行う方針である。さらに、代表団体においては幹部を育成する研修やジェンダーに関する研修、各構成団体では品質管理、安全管理、AED・普通救命講習、教室のコーチの研修等を実施していく。

・運動場利用者にみどりのことを知ってもらう、あるいは公園利用者にスポーツのことを知ってもらう機会の創出は考えているか。
→スポーツコート管理棟の多目的ルームで環境学習を行うなど、施設間で連携しながら取り組みたい。新たな利用者を取り込むため、スポーツを行う人も行わない人も公園を中心に集う施設にしていきたい。

・公園の遊具等施設の安全点検は誰がどのように行うのか。
→日常点検は施設の常駐職員が毎日、点検シートに沿って、目視や触診により点検する。また、専門業者による詳細な点検を年1回行い、そこに施設職員も参加して学ぶことで、能力向上も図る。

・プレーパークの利用料は無料か。また、回数を増やす可能性はあるか。
→基本的に無料を考えている。ニーズに応じた回数で、季節で内容を変えるなど工夫しながら実施していきたい。

・自主事業に関して、永福体育館のカフェや下高井戸おおぞら公園スポーツコート管理棟のデジタルサイネージの活用についての考えを教えてください。
→永福体育館のカフェ及びスポーツコート管理棟のパントリーは、大会・イベント時に有人販売等を行い、通常時は利用人数の見込みも踏まえ、自由に休憩が取れる環境を提供していく。また、就労支援事業所と連携したベーグル等の販売も定期的に行いたい。デジタルサイネージについては、環境の啓発に加え、全施設統一した情報を流すことで相互利用を図っていく。

・ユニバーサルタイムの拡大について、あらためて説明してほしい。
→永福体育館に加え、他の施設にも広げていきたい。参加者を増やすため、地域コーディネーターが行う障害者向け事業の参加者に周知するほか、SNS、デジタルサイネージの活用を考えている。

○第二次審査結果の確認及び指定管理者候補者の決定

各委員の採点后、講評・意見交換を行った。

【主な意見】

- ・1者しか応募がなく、採点が難しい面があった。
- ・利用者の声を受けた具体的な提案も一部あったが、そうでない点もあった。実績を踏まえた新たな取組の具体性がもう少しあると更に良かった。
- ・公園と運動場等の連携については、運営開始後の取組に期待したい。
- ・現指定管理者として、地域との関係はよく構築できている。
- ・スポーツ施設の運営については、及第点であると感じた。一方、公園の管理運営に関しては、倒木など様々な対応を求められるため、状況を注視していきたい。

応募団体は第一次及び第二次審査の合計評価点数が配点数の6割以上であるため、応募団体を指定管理者候補者として選定した。

※審査結果は別紙のとおり。

事務局から、選定結果の通知、区ホームページでの公表等、今後の流れについて説明した。